

第5回伝統文化大賞

# 山本能楽堂

大阪府大阪市

*Yamamoto Noh Theater*



山本能楽堂は、大阪城近くに佇む大阪で一番古い能楽堂である。昭和2年に創設されたが戦災により焼失し、昭和25年に再建され、現在に至る。平成18年には全国の能楽堂として初めて登録有形文化財となった。そして、平成23年から3年間、文化庁による初めての「重要建造物等公開活用事業」のモデル事業として大改修が行われた。(株)安井建築設計事務所の設計・管理、graf 服部滋樹氏のデザイン監修により、歴史の陰翳が刻まれた能舞台にモダンな空間が対峙する唯一無二の貴重な建造物として、64年ぶりに新たな息吹が注ぎ込まれた。

ビジネスの街・大阪にありながら、「本物の日本文化」を体感できる希有な美しい空間へと生まれ変わり、古い建物のよさは保全しながら、耐震補強工事に加え、LEDカラー照明の設置、全館床暖房、車椅子対応の客席ならびに多目的トイレの新設等、現代の最新の日本の技術を駆使して機能性を向上させた。また、ライブラリー・資料室を新設し、劇場と研究施設を結ぶ新たな取り組みも開始した。

今回の改修のコンセプトは「開かれた能楽堂」。能楽堂がかつては船場の旦那衆によって「紳士の社交場」として活用されていた歴史を検証し、大人から子ども達まで、様々な国籍の、多種多様な人々が行き交う「現代の社交場」としての可能性にあふれた場所として公開活用を行っている。そして、古い貴重な建物を有効活用し、社会のために多彩な活動を実施することで、地域の住民がシビックプライドを感じ、ランドマークとしての役割を担うことを目標としている。

建物内の能舞台は、客席と舞台との距離が近く、演者の息遣いや汗を感じながら、観客が舞台と一体となって臨場感を持つことができ、ちょうど昔の芝居小屋のような雰囲気をもっている。その利点を活かし、大阪商工会議所、大阪市、大阪観光局の協力を得て、初心者を対象とした古典芸能の普及・啓発活動に積極的に取り組み、能だけではなく大阪で育まれた文楽、上方舞、落語、講談、浪曲等の「上方伝統芸能」全体の情報発信基地・育成機関としての役割も担い、大阪の文化・観光振興に寄与している。

また、次代を担う子ども達への能の普及活動にも積極的に取り組み、現代美術家の視点を取り入れながら、「子ども達が自主的に楽しめる」独自のプログラムを多数開催している。同時に、文化庁からの委託により小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等で伝統芸能の授業を実施し、小学校の社会の教科書の表紙や学習のページにもその様子が掲載されている。



Noh is the oldest Japanese theatrical art, with a history stretching back more than 650 years. While it is an important part of Japan's cultural heritage, Noh is often described as outdated and difficult to understand for contemporary audiences. The Yamamoto Noh Theater was founded in 1927 to preserve and revive this traditional performing art and has undertaken various initiatives to present Noh as an "attractive art that lives in the contemporary era." The group takes particular pride in its location, Osaka, which has nurtured many forms of Japanese performing arts, including *kyogen* (traditional comedy theater), *bunraku* (traditional puppet theater), and *rakugo* (comic storytelling). To promote Osaka as a city of traditions, the theater regularly hosts events that present Noh performances along with other forms of performing arts, giving audiences a comprehensive experience of Osaka's many cultural activities.

The Yamamoto Noh Theater's building is classified as a national heritage site, originally built in 1921 and then reconstructed in 1950 after being burned down during the war. Workshops are regularly held for those who are new to Noh, including international audiences. The group also hosts children's programs in which children can learn about Noh through creating set pieces, trying out Noh choreography, and participating in performances as part of the choir. In recent years, it has produced a new Noh program themed around environmental issues in Osaka. While it has retained the quality of traditional Noh theatrical performance, the theater also integrates contemporary arts into the stage set and involves children as performers to encourage community





## ティファニーのある能楽堂、その輝きを胸に

公益財団法人 山本能楽堂  
代表理事 山本章弘  
(観世流能楽師・重要無形文化財総合指定保持者)

能楽は650年の歴史を持つ世界最古の仮面劇であり、連綿と続くその歴史の中には日本の美意識が凝縮されています。伝えられ、守られてきた「有形の美」と「無形の美」。日本のあらゆる美の表現が能楽の中には今もなお息づいています。

今回の受賞による最大のプレゼントは、このティファニー財団の精神を私達の活動の中に共有させていただき、進むべき指針をいただいたことです。

受賞を機に、能楽堂の大規模改修をはじめ、私どもを取り巻く環境や、活動は今まで想像すらできなかった状況へと急速に発展することができました。それは、受賞によって新しい価値観が注がれ、気持ちが大きく変化したことによる功績だと思っています。

「無形の美」は人の心から心へと伝承されていきます。これからも「ティファニーのある能楽堂」として、伝統を重んじながらも革新的な精神を大切に、活動を続けていきたいと思っています。